

週間市場レポート (2015年12月21日～25日)

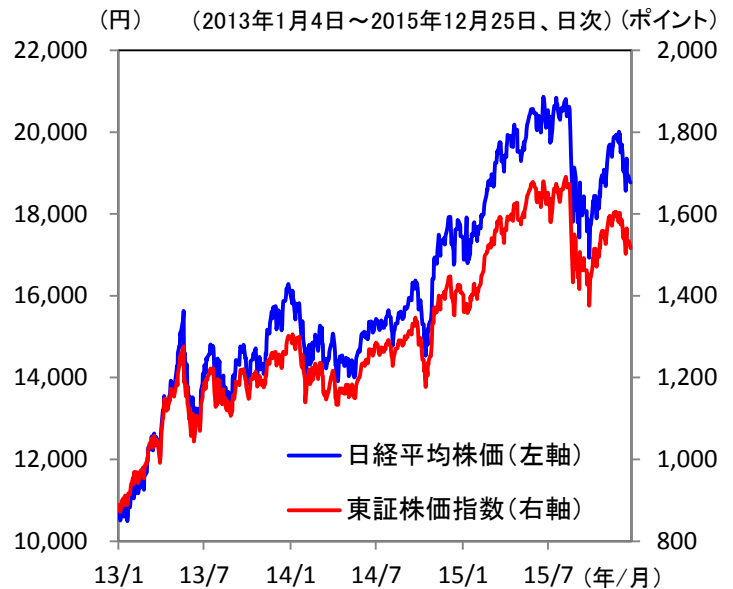
(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■先週の日本株式市場(日経平均株価)は、海外投資家のクリスマス休暇入り等で取引量が細る中、円高の進行を嫌気した売りや祝日を控えた手仕舞い売り等により、じりじりと値を下げる展開となりました。18日から休・祝日を挟んで5日連続で下落しました。5日続落は、2015年8月18～25日の6日続落以来となります。

(週末引け値: 18,769.06円)

■週間では、日経平均株価は1.15%の下落、東証株価指数は1.36%の下落でした。



出所:ブルームバーグのデータをもとに
ニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■先週の日本債券市場(10年国債)は、円高や国内株式の下落等といったプラス材料と、原油価格の反発、欧米金利の上昇といったマイナス材料に挟まれ、0.27～0.28%程度の狭い範囲でもみ合いました。

(週末引け値: 0.279%)

■週間では、10年国債金利は0.009%の上昇でした。



出所:ブルームバーグのデータをもとに
ニッセイアセットマネジメントが作成

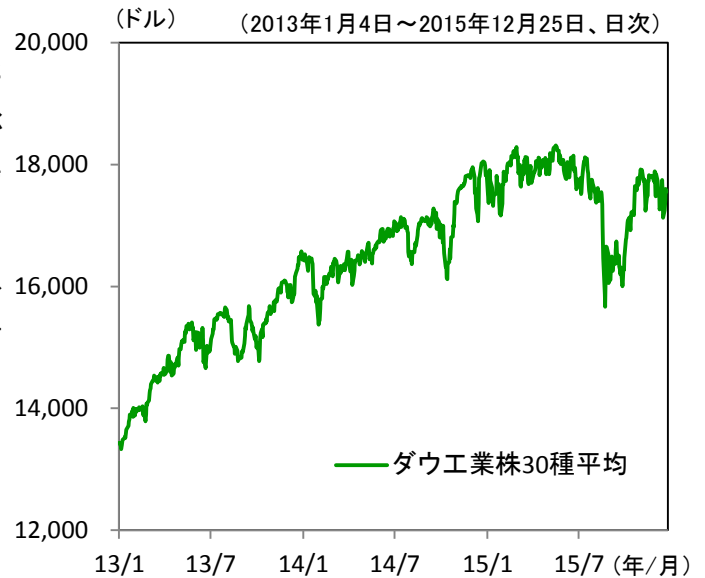
(2) 米国の株式市場

市場の動き

■先週の米国株式市場(NYダウ)は、原油価格が反発したことや中国政府の景気対策期待でアジアの株式市場が総じて堅調に推移したこと、発表された経済指標がほぼ市場の予想通りの内容であったこと等を好感し、21日から23日まで連続して3桁の上昇幅となりました。24日はクリスマス伊で半日取引でしたが、新規材料に乏しく、市場参加者が細る中で小幅に下落して引けました。

(週末引け値: 17,552.17ドル)

■週間ではNYダウは2.47%の上昇となりました。



出所:ブルームバーグのデータをもとに
ニッセイアセットマネジメントが作成

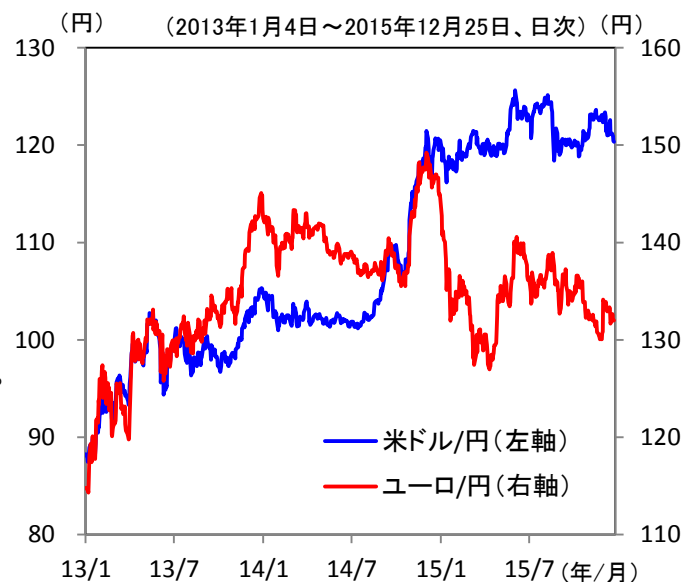
(3) 外国為替市場

市場の動き

■先週の米ドル/円相場は、新規材料に乏しい中、米利上げ決定後の米ドルの上値の重さを嫌気した売りや、クリスマス休暇入り前の米ドル持ち高の調整売り等により、円が対米ドルで買われる展開となりました。一時120円割れ近くまで円高・米ドル安が進んだものの、クリスマス休暇入りを控えていることもあり、その後は様子見ムードとなりました。

(週末引け値: 120円30銭~35銭)

■週間では米ドル/円は0.69%の円高、ユーロ/円は0.22%の円安となりました。



出所:ブルームバーグのデータをもとに
ニッセイアセットマネジメントが作成